



# KSK あまねだより



(頒価 20円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会  
 222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
 横浜市車椅子の会内

編集 あまね共同作業所  
 239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1  
 TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062  
 2019年9月7日 第426号



## 地域作業所の役割などについて



横須賀・三浦作業所連絡会の10月の定例代表者会議では、障害福祉課の職員さんを招いて、地域作業所・地域活動支援センターの現状、抱えている問題など、各事業所の所長、責任者の会員同士率直な意見交換をしました。議論の中身をお伝えする前に、現在の作業所連絡会は、地域作業所のほかに地域活動支援センター、就労継続事業所、生活介護事業所と様々な制度の異なる障害者の働く場、生活の活動を支援、保障する場の事業所で構成されています。平成18年度に障害者自立支援法が施行される以前は、会員全てが障害者地域作業所で構成されていて、障害種別の問題点や課題の違いはありましたが、補助金等共通の課題も多く、横須賀市への要望書の項目も全会員共通したものが多くありました。

そのことを踏まえて話し合いの中身をご紹介したいと思います。まず、地域作業所や地域活動支援センターは、個別給付事業の生活介護や就労継続事業所と比べて、「緩やかで縛りが少ない。短時間の利用、週に一度程度しか来れない人も受け入れができる」「支援区分等にとらわれず利用ができる」「少人数の登録で運営が可能」等の優位性があるとお話がありました。

一方で、「横須賀市からの補助金は増えず、毎年最低賃金が上がり運営が厳しい」「事務処理が増えて、サービス残業になってしまう」「老々介護のように、職員が高齢化しているが、職員を募集しても若い人が来ない。必要と思っても男性職員を雇えない」など実情と課題が上げられました。それに対して、横須賀市の障害福祉課の職員は、「そのような現状は理解してはいるが、横須賀市は地域活動支援センターや地域作業所として残すべき必要数がどれくらいなのかの判断が分からない中、可能であるならば法内事業(生活介護や就労継続)へ移行してほしい」「横須賀市も財政難で社会保障費が増額している。また将来人口の減少に伴い、税収が増えないので、すべての要望

に応えられず、優先順位を決めていかざるを得ない」とお話がありました。生活介護事業所の管理者の方から「人口減少の予測は解るが、年々障害者の数も増えて、支援はより必要となってくる」と発言があり、事業者と行政の溝の深さが改めて浮き彫りになりました。

横須賀市の財政事情は厳しいとは思いますが、障害者地域作業所や地域活動支援センターが、横須賀市が言うようにすべて個別給付事業に移行し、地域作業所の制度がなくなった場合、通所が困難となる仲間や個別給付事業にそぐわない制度の狭間に置かれている仲間の日中活動の場の保障ができなくなります。今後も地域作業所や地域活動支援センターに通う人の実情、ニーズを行政に伝え続け、話し合いを継続し、手を携え、仲間たちの希望、ニーズに基づいて、日中活動の場を自己選択でき、安心して地域で暮らしていけるように、行政と共に手を携えて支援していきたいと思っています。

(文責 山田)

## ヘルパー募集

社会福祉法人あまねでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出支援になります。

ヘルパー資格をお持ちの方で、やる気のある方を募集しています。時間等も週一回、一時間から相談に応じます。

問合せ等 046-833-2919 葉谷まで

## 資源回収ご協力ありがとうございます

2019年9月実施分は  
24,910kgでした  
(奨励金は99,600円)

次回の日程は別紙にて  
お知らせします。

問い合わせは9:00以降に  
お願いいたします。

## 【あしがひりくすまわ】

内田様 荒木様 額狩様 狩野様  
戸所様 久里浜地区社協(順不同)  
資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂きます。お名前を記せませんが、有効に活用させていただきます。

30日 パラスポーツフェス 県立大学  
グモール

29日 12月2日 障害者週間キャンペーン  
19日 通研  
9日 ぎんなんまつり  
9日 ふれあい広場 総合福祉会館  
7日 岩戸COOP 県立福祉大学  
3日 うみかぜ祭

## ☆ハサリの予定(11月)

☆スケジュール(11月)  
2日 あまねフェスタ  
5日 みかん狩り  
6日 グループ活動  
8日 資源回収 岩戸・池田  
9日 資源回収 舟倉・若宮台  
15日 生活介護職員会議  
27日 クラブ活動





# グループホームから



## きょうれん全国大会 IN 名古屋に参加してきました

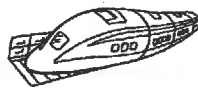
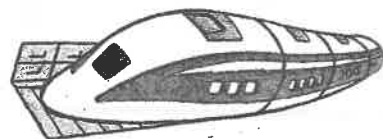
かもめはうすの利用者5名、こもれび利用者3名そして職員4名、総勢12名で「きょうれん全国大会」に今年も参加してきました。今年が開催地は名古屋。小規模作業所発祥の地です。

私事ですが、全国で最初にできた作業所の実践を記録したミネルバ書房の「ゆたか作業所」を読んで、仲間の想いを大切に作る作業所を横須賀でも作りたいと共感してくれる関係者と共に「あまね共同作業所」を作ってきた経緯があります。あまね共同作業所を開所する前に「ゆたか作業所」を実際に見学させていただき、職員と仲間の方のやり取りを目の当たりにして、当時勤めていた事業所と考え方も支援の在り方も全く異なるなかで、多くの学びがありました。

大会のオープニングセレモニーの最後に、名古屋をはじめとする東海地方の仲間や家族・関係者の方がステージいっぱい並び、「ゆたか作業所」をはじめとする小規模作業所の歴史を振り返りながら、大会テーマ曲で会場と一体化し、全国大会ならではの雰囲気堪能しました。その後は、利用者の方は「利用者フォーラム」へ私だけは昨年からの引き続きの分科会「地域作り・人作り」に参加しました。

利用者フォーラムでは、2日間お抹茶体験や甲冑や打掛を着る体験、ミニコンサート等、仲間の楽しめる企画満載。熱田神宮で供されるお菓子がお抹茶のお茶菓子として用意され、職員曰く「食べ放題」状態…とのことで、私もこっそりとご相伴にあずかりました。甲冑や打掛を着る体験をした仲間の方は参加しなかった私に「写真撮ったから見て!」ととても嬉しそうに話してくれ、実際に写真を見せてもらうと、今回初めて参加した仲間の方を含めてチョッピリ恥ずかしそうに、でも楽しそうな様子で写っていて参加してよかったと思いました。また、大会のお弁当は東海地方の名物料理が入っており、お弁当を作業種目としている作業所が協力して「つながろまい」御膳として作ってくれていました。共通する料理は同じでも作る事業所によって微妙に異なり、何か入っているかは、開けてみてのお楽しみで美味しく頂きました。

名古屋に来たからには…ということで大会が終了すると名古屋城見学に繰り出しました。残念なことに名古屋城の天守閣は修理中で登ることはできませんでしたが、新しく復元された本丸御殿は外観も素晴らしく、歴史好きの私は見てみたいと思いましたが多くの方が並んでいるのであきらめて、お城を眺めながらソフトクリームや飲み物でまったりと過ごしました。



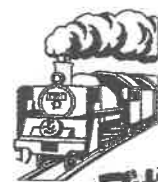
グループホームの仲間の方同士、一緒に旅行をする機会も少ないので、きょうれん全国大会を含めてその後の1日を観光に充て、3日目はリニア鉄道館と名古屋水族館に行ってきました。

鉄道好きの仲間にとって、念願のリニア鉄道館。中に展示してある新幹線の前で嬉々として写真を撮る仲間、どの電車も中まで入ることができるので、蒸気機関車の中に入り、楽しそうに見入っている仲間、ミュージアムショップで限定製品を購入する仲間…思い思いに楽しみました。リニア鉄道館から名古屋水族館までは、水上バスを利用しての移動。気持ち良い風に吹かれて湾内を移動するなかで、ボラが水面に元気よく飛び跳ねる様子が見られました。何故、飛び跳ねるかの理由は不明とのことですが、仲間の方共々ミニ船旅を楽しみました。昼食は、名古屋名物の味噌カツやひつまぶしを食べ英気を養って名古屋水族館へ。

名古屋水族館は、休日ということもあり人であふれ返っていましたが、ベルーガの優雅な姿や、海亀の愛嬌のある動き、イルカのショーなどを楽しみました。

この3日間を通じて、仲間の日常生活を垣間見ることができ、毎日支えている職員さんやご家族の苦労をほんの少しですが体験することができました。今回初めて参加された仲間の方に帰りの電車の中で「楽しかったですか?」「また来たいですか?」と伺うと元気に「ハイ(^o^)/」との返事が返ってきました。来年の大会は和歌山県まで来てどうなることやら…

(海原・記)



**ご協力ください!**

布地8枚重ね 3枚組

**660円**

ご注文は作業所まで

**046-835-0723**

**牧之原産やぶきた**

深蒸し茶を販売しています♪

**200g 1000円**

ご注文は作業所まで..

**046-835-0723**